

1. 既往資料による公共交通の概要

(1) 地域及び公共交通の概要

既往資料から、以下の内容について整理する。

①日高町の概要

1)人口関連

- ・行政区別に人口、高齢化率、若年者比率、人口密度を整理して図化し、交通弱者等の分布状況を把握
- ・近隣市町村間の移動状況(通勤・通学)

2)産業、公共施設及び基盤施設

- ・産業、道路網、公共公益施設、学校教育施設、公営住宅団地、観光レクリエーション施設

②公共交通等の実態

1)路線バスの運行状況（道南バス：日高地域広域公共バス）

- ・運行路線及び停留所位置、便数及び輸送人数の推移、経常費用収益及び補助金額等

2)町営バスの運行状況（日高地区：占冠線、岩内ダム線、千栄線、日高門別線、町内循環バス）、（門別地区：広富線、豊郷線、清島線、厚賀富川線、厚賀太陽線）

- ・運行路線及び停留所位置、便数及び輸送人数の推移、経常費用収益及び補助金額等

3)その他送迎交通など

- ・その他福祉バス、患者輸送バス、買物バス等の運行があれば状況を把握
運行路線及び乗降所、便数及び輸送人数、車両状況、運行費用及び補助金額

(2) 上位関連計画等による公共交通の位置づけ

上位関連計画における地域公共交通の位置づけや役割について整理する。

- ・総合振興計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略、都市計画マスタープランなど

2. 地域公共交通実態調査

地域公共交通実態調査として住民アンケート調査を集計・分析することで公共交通のニーズを把握する。

(1) 住民アンケート調査

- ・日高町にお住まいの住民から無作為に抽出した2,000人を対象に、アンケート調査を実施
- ・アンケート票の印刷及び配付回収費は受注者が負担
- ・個人属性、交通実態及び今後の公共交通のあり方、コミュニティバスや乗合タクシーなどのデマンド交通の利用意向等についての設問を設定

(2) バス乗降調査及び意識調査

- ・2日間（平日、休日）のバス乗降調査を実施
- ・対象路線は、町営バス清島線、占冠線、岩内ダム線、日高門別線、町内循環バスとする。
※広富線、豊郷線、千栄線については令和4年度に実施した日高地域公共交通計画の調査結果を使用
- ・調査方法は、始発便から最終便まで調査員1名がバスに乗車し、乗客一人ひとりの乗降停留所を把握
- ・乗降調査と併せて、アンケート（ヒアリング）調査を実施
- ・バス運行内容が利用者ニーズに対応しているかを把握するための設問を設定。

3. 地域公共交通の課題整理

「1. 既往資料による地域及び公共交通の概要」及び「2. 地域公共交通実態調査」から計画課題を設定し、計画策定の方向性を検討する。

(1) 課題の整理

既存の公共交通についての改善事項や公共交通空白地域における公共交通ニーズを把握し、既存の公共交通についての統廃合並びに利便性の高い輸送方法や新たな公共交通の必要性など地域公共交通体系を構築するための課題を整理する。

(2) 計画策定の方向性

(1) を解決するために、統廃合やどのような輸送方法が妥当であるかを検討するとともに、地元説明会への同席及び交通事業者へのヒアリング等を交え輸送形態の方向性を示す。

4. 地域公共交通計画の策定

ふさわしいと考えられる公共交通体系についての基本方針、計画の目標及び目標達成に必要な事業等を定める。

(1) 基本方針と計画区域

地域公共交通計画の背景を整理するとともに、地域公共交通の課題を解決して持続的に運行するための公共交通体系の基本方針を設定する。

(2) 計画に位置づける取組み及び実施主体

基本方針等に基づいた定量的な計画目標を設定するとともに、目標を達成するために新たな交通手段、既存公共交通との連携及び利用促進策などの公共交通事業及び実施主体を設定する。

(3) 計画の進行管理

公共交通事業の実施スケジュールを設定するとともに、PDCAサイクルに基づいた評価の考え方や手法について整理する。

5. 地域公共交通計画書素案の取りまとめ

地域公共交通計画書素案として取りまとめを行う。

6. 協議会・打合せ協議

(1) 地域公共交通活性化協議会開催支援

業務の実施にあたっては、日高町地域公共交通活性化協議会の提言を尊重する。

また、協議会に出席するとともに、開催に要する資料を作成する。協議会開催回数は3回を想定する。

(2) 分科会

検討事項に対し、適宜分科会を開催する。

(3) 打合せ協議

打合せ協議は、着手時1回、中間1回、完了時1回の計3回を想定する。

